

# チームオレンジ(認知症サポーターによる活動支援)

～認知症があってもなくても同じ社会でともに生きる「共生社会」を目指す～

全国における平成24年の認知症の方の人数は約462万人でしたが、令和7年には約700万人になると推計されています。加須市における認知症の方の人数は、令和4年度末で4068人と推計されており、今後もその数は増加傾向にあると見込まれております。

市では、認知症サポーターが、認知症の方や家族を「温かく見守る応援者」から一歩進んで、同じ地域で暮らすメンバーや認知症の方、その家族とチームを組み、認知症になっても住み慣れた地域で希望をもって暮らし続けられる地域づくりの具体的活動である「チームオレンジ」の設置を進めています。

認知症の方の活躍の場（編み物講師）



## 1 チームオレンジの3つの基本

- ① 認知症サポーターステップアップ講座(※)修了又は予定の認知症サポーターでチームが組まれている。
- ② 認知症の方もチームの一員として参加している。
- ③ 認知症の方と家族の困りごとを早期から継続して支援ができる。

(※)認知症サポーターステップ講座:「なにか」したいと考える認知症サポーターの方に「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」のために地域で活躍できるサポーターとなっていたりするための講座。

## 2 チームオレンジの活動

加須市では、認知症カフェのボランティアチームや自治会や民生委員、関係団体等がチームを組んで、地域の見守りや高齢者の社会参加をすすめ、やさしい地域づくりを目指しています。

チームオレンジの活動をきっかけに、認知症への理解がすすんだ地域をつくり、地域の中で見守りや声かけを自然に行うことができ、認知症の方や家族が安心してこれまでと同じ生活を過ごすことができます。

## 3 チームオレンジの設置状況について（令和5年11月現在:3チーム）

チーム名	設置年月	地区	活動内容
つなぐ	2022年 3月	新川通上・新川 通下・外記新田 地区	地域等に認知症の理解者を増やし地域が一体となって認知症について考えていく活動。既にある高齢者サロン等を認知症予防への取り組みの場とし、認知症になってもいられる居場所づくり。
あがらっせ	2023年 3月	不動岡・礼羽・ 志多見地区	オレンジカフェあがらっせで集いの場の提供。歌や体操、将棋、編み物など、気ままに楽しく過ごせる場所。
みんなのちから いいね倶楽部	2023年 9月	加須地区	つくろうカフェ(おしゃべり、手作業、読書など自由に過ごす場)で集いの場の提供。和やかでホッとする、みんなの居場所。



つなぐ



みんなのちからいいね倶楽部



あがらっせ



将棋の対局を見守る  
認知症サポーター

